

中国におけるポリプロピレン自動車材新会社設立について

住友化学は、中国における自動車産業向けポリプロピレン（以下「PP」）事業の拡大を図るべく、このたび中国華南地区にPPコンパウンドの製造および販売を行う新会社を設立することを決定いたしました。新会社の概要は以下のとおりです。

- 会社名称 珠海住化複合塑料有限公司
- 出資比率 住友化学株式会社55%、東洋インキ製造株式会社45%
- 所在地 中華人民共和国広東省珠海市斗門区富山工業区
- 事業内容 自動車材料を中心とするPPコンパウンドの製造および販売
- 設備能力 当初10,000トン/年（将来20,000トン/年）
- 設立時期 2005年5月頃
- 操業開始 2006年央

住友化学は、PPなどポリオレフィン事業を石油化学部門の重点事業と位置付け、製品の高付加価値化による事業基盤の強化を図っており、その一環として、PPコンパウンド事業拡大を進めています。PPコンパウンドは、PPに合成ゴムや無機フィラーなどの素材を混練することで、それぞれの素材単体では発揮されない優れた性質を示す高性能な材料であり、自動車のバンパーや内装材等の用途に需要が拡大しています。

当社は、日本・シンガポール・北米の三拠点で独自技術によるPPの製造プラントを有していますが、この優位性を活かして、世界で同一品質の高性能PPコンパウンドの供給体制を整え、自動車メーカーのグローバルな生産体制のニーズに対応していくことをめざしています。中国は自動車産業の成長が目覚しく、中でも華南地区では日系自動車メーカー各社の生産工場新設・増設が多数計画されており、PPコンパウンドの需要が大幅に増加することが予想されます。この急速な需要の拡大と高度な品質要求に迅速に対応し、PP事業の拡大を図るには、当社がシンガポールで生産するPPを活用し、中国華南地区においてPPコンパウンドの生産販売体制を構築することが最良の策と判断いたしました。

また、PPコンパウンドの製造には着色技術が重要な役割を果たしますが、東洋インキ製造は卓越した合成樹脂着色技術を持ち、既に世界各国で合成樹脂用着色剤や着色コンパウンド事業を展開しています。今回の新会社を同社との協業で行うことで、より高いレベルの需要家の満足をめざします。

当社は、今後ともPPコンパウンドのグローバル供給体制を一層充実させ、事業の拡大、収益基盤の強化を図ってまいります。